

【高松市】
校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果、現状においては、平成 24 年度に導入した統合型校務支援システムの活用により、メールや公文書発送システムでの連絡や情報共有、名簿管理や成績管理、通知表等の帳票出力等により業務の効率化が図られ、教職員の業務負担の軽減となっている。その一方で、職員会議や職員への通知、行事日程や特別教室の利用予約など、校内における連絡等のクラウド化は進んでおらず、クラウドツールの積極的な活用による負担軽減とコミュニケーションの活性化が課題である。

2. 校務 DX を推進するための課題解決策

- (1) 省略できる押印を廃止するため、必要な規則や規程の改正を進める。
- (2) 校内における業務のペーパーレス化を進めるため、事例紹介やアウトリーチ型研修として、各校の実態に応じたシステム活用研修を行う。
- (3) 学校から市教育委員会への申請を、メール送付からクラウドツールへと移行し、ペーパーレス化による更なる効率化とデータによる一元管理を進める。

3 次世代校務 DX 環境の整備について

令和 5 年 3 月に文部科学省が取りまとめた「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務 DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務 DX の在り方）を目指し、今後も、香川県教育委員会及び県内各市町教育委員会と協議・検討し、必要な環境整備を進めていく。